

いつまでも健やかに・・・

— 私たちの願いです。

環境経営レポート2022
2022/04/01 ~ 2023/03/31



医療法人 玉昌会
発行：2023/07/21



Save the earth

目次

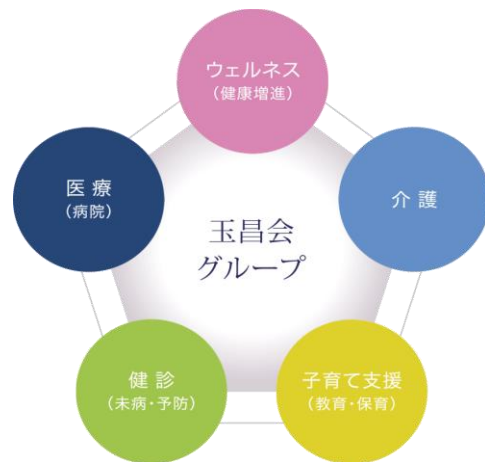
章	項目	頁	対応するSDGsゴール
1	環境基本理念・環境経営及びSDGsへの取組宣言 環境経営方針	3	
2	EA21に向けての想い 医療・介護・福祉分野だからできるSDGs	4	
3	事業の概要、事業の規模・適用範囲、活動事業所	6	
4	環境経営システム体制・役割・権限	8	
5	経営における重要課題（マテリアリティ）をチャンスに	9	
6	新築病院と既存病院の二酸化炭素排出量の原単位比較 病院の低炭素社会実行計画(2030年度削減目標)に向けて	10	
7	外部コミュニケーション・地域のボランティア清掃 環境コミュニケーション及び教育・訓練記録	12	
8	環境活動計画	15	
9	環境経営活動計画実績及び中期目標と現状把握	16	
10	マテリアルバランス（事業活動による環境への影響）	20	
11	環境関連法等の遵守状況	21	
12	代表者による全体の評価と見直し	22	

● 環境基本理念

「いつまでも健やかに・・・－私たちの願いです。」
の法人理念を柱に地域社会に医療・介護・福祉サービスを提供させて頂いている私たちは、今後も地域の皆さまと共に、より良い社会を築くために、企業活動においても地球環境を経営上の優先課題として環境経営に取り組めます。

● 環境経営及びSDGsへの取組宣言

医療法人玉昌会は、持続可能な社会をつくるために、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けてCO₂削減・省エネルギー・省資源廃棄物の削減に取り組み、それを継続的に改善してまいります。
そして地球環境に配慮した環境経営を行う法人として「SDGs」への取組みを宣言します。



環境省
エコアクション21
認証番号 0009607

● 環境経営方針「Save the earth」

環境への負荷削減を始めとする環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組み、環境経営を通し「SDGs」の実現に貢献するため、以下に環境経営方針を定めます。

1. 事業活動に関わる環境関連法・条例その他のコンプライアンスを徹底します。
2. 環境負荷の削減や環境改善を図るために下記事項に取り組めます。
 - ① 地球温暖化対策のため省エネルギーに取り組み二酸化炭素の削減に努めます。
 - ② 資源の有効的活用を図り、リデュース・リユース・リサイクルの3Rを推進します。
 - ③ 廃棄物の削減及び適正管理に努めます。
 - ④ 水使用量の削減に努めます。
 - ⑤ 化学物質の使用量の削減、安全な管理を行います。
 - ⑥ 医療、福祉サービスを効率的に提供し資源を有効的に活用します。
 - ⑦ 地域清掃活動を継続します。
3. この環境経営方針を推進するために、教育・研修を継続し全職員に周知します。



■ EA21 (エコアクション21) に向けての想い

エコアクション21への取組みの経緯

約11年前に「環境に取組みたい」と職員より提案があり、私自身も環境に対して興味はありながらもまだ漠然とした感覚でしたが、今後は、避けて通れない必須領域であり、確実にやってくる課題と捉え環境活動を始めました。

環境マネジメントには、「組織全体の関わりが求められる事、取組みやすさ、経費等」を考慮した結果、エコアクション21を選び「認証・登録」に向けてキックオフして2013年8月に審査を経て認証・登録事業所の認定を受け、以降取組みを継続してまいりました。

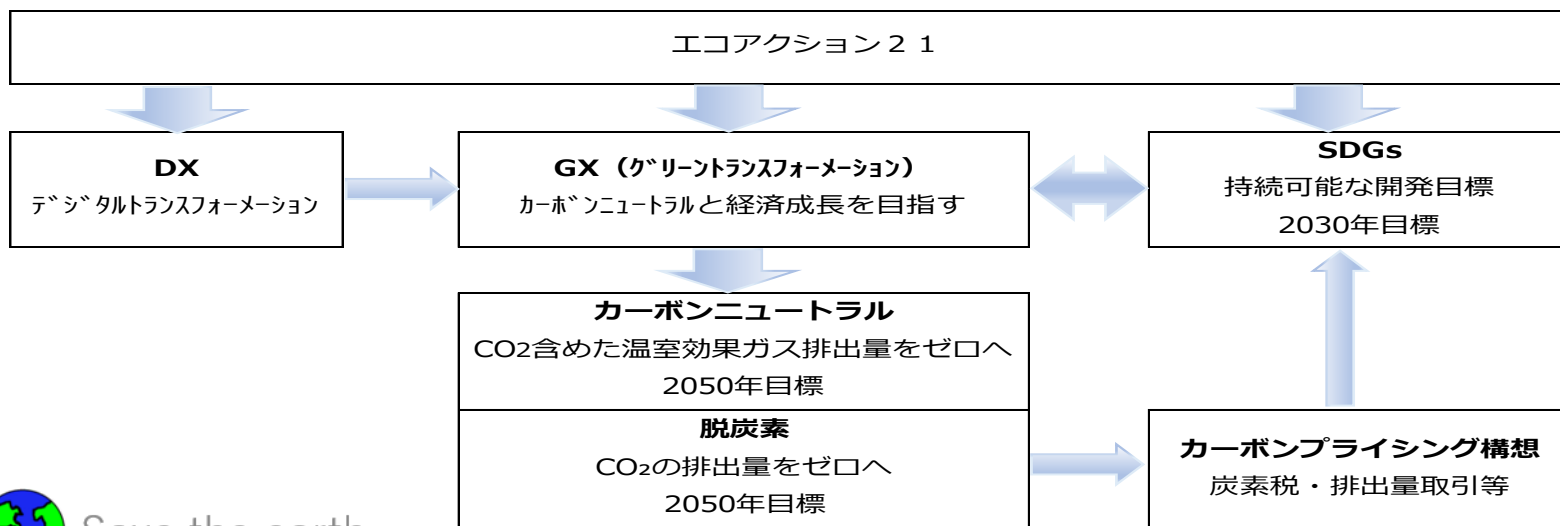
環境経営導入のメリット

導入するにあたり法人がコミットした「環境基本理念・環境経営方針」に沿って環境経営を推進しながら、新企画等へチャレンジをしているうちに自然と法人のコアメンバーにエコアクション21への関心が高まり、数年後には組織全体が「環境」を意識するようになりました。ボランティア清掃もその一つで、企画すると多くの職員の参加があります。これも職員の自然環境を大事に思う行動のひとつと考えています。

私共は、環境経営方針に沿って、CO₂・水資源・廃棄物など削減目標に向けて活動しています。部門ごとのデータを分析することで、課題の改善に繋がります。環境活動について外部評価も、法人の位置づけとして大事だと考えています。一例として、エコアクション21九州における「環境経営レポート大賞」関連では2016年から2022年まで「レポート大賞部門賞5回、環境経営レポート大賞1回」を受賞してあります。またDBJ（日本政策投資銀行）関連では2016年に「環境格付け」を取得。日本初の「ビジョナリーホスピタル最高賞」に輝きました、これもエコアクション21が11年前にスタートし、法人全体がチャレンジした結果と捉えています。また「健康経営ホワイト500」等の連続取得が社会的信頼に繋がるなど、多くのメリットを感じています。

環境に対する長期目標に対して

SDGsの2030年達成、カーボンニュートラル2050年達成の長期目標に向けて最大限協力致します



医療法人 玉昌会
理事長 高田 昌実

医療・介護・福祉分野だからできるSDGs

SDGs No.3 「すべての人に健康と福祉を」

私たち法人の最も貢献できる目標です。

健康・医療・福祉・生活の総合ビジョンを描き、上位にはフィットネスを掲げ、未病・予防に主眼を置き、すべての人々の健康に健康経営「ホワイト500」のノウハウを提供します。

また、必要な福祉支援が届いていない地域住民に適正な支援を届けるために、複数分野にまたがる複合化・複雑化した課題のために誰一人取り残さないセーフティネット「重層的支援体制整備事業」等にも積極的に取組んでまいります。

環境、健康、ESG、SDGsを法人基本行動と考えております。



SDGs No.13 「気候変動に具体的な対策を」

健康と福祉だけでなく出来る事があります。

医療・介護・福祉事業を運営するにあたり、電気・ガス・燃料等の利用で、温室効果ガスが排出されます。感染予防では、使い捨ての医療材料も多く、患者・職員を守るために必須です。

これらを可能な限り減らす事でCO₂など温室効果ガス減少につながり、結果として飢餓が減り、紛争が無くなり、SDGs最初の目標「貧困をなくそう」の達成が可能となります。そしてこの活動が必要な医療・福祉を受けられるスタートの取組みと考えます。



カーボンニュートラル実現に向けてできることから

いま出来る事として、CO₂排出量や水資源の削減目標を明確に立て、実践・継続する事が重要です。

また、エコ製品、脱炭素型製品の購入、食品ロス、サステナブルなファッション、設備の予防保全により機器の耐用年数を延ばすなど、全てカーボンニュートラルに繋がると信じています。

鹿児島市に新築移転した病院は、設計段階から環境経営のノウハウを生かし、集大成として意匠も含めて徹底的に脱炭素社会に向けた取り組み（GX：グリーン・トランスフォーメーション）と防災を意識した病院が完成致しました。

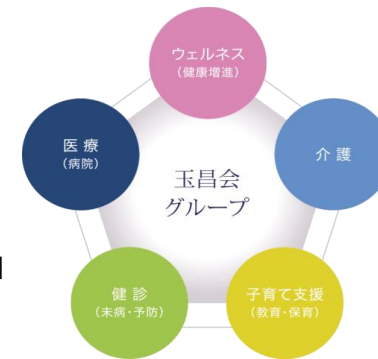
始良市では「新病院街づくり構想」を計画しており、ZEB(ゼロエネルギービルディング)の活用を予定しております。

■ 事業の概要・規模・適用範囲

● 法人概要

法人名称・代表者	医療法人玉昌会 理事長 高田昌実
住所	鹿児島県鹿児島市泉町2番3号 そうしん本店ビル4階
事業年度	4月から翌年3月
事業内容	医療・介護・福祉サービスの提供
法人総職員数	998名（2023.3末現在） うち法人事務局職員数 57名
● 法人グループ	社会福祉法人 幸友会「かずみ保育園」、株式会社JOY「WellBe Club」
● 始良地区 担当理事	加治木温泉病院長 夏越祥次
● 鹿児島地区 担当理事	キラメキテラス ヘルスケアホスピタル院長 上村章

法人グループビジョン



医療

● キラメキテラス ヘルスケアホスピタル（鹿児島市）

機能	病院：回復期・慢性期・人工透析・健診
ベッド数	198床
階数・延べ面積	7階RC造：9,641㎡
職員数	333名



● 加治木温泉病院（始良市）

機能	病院：回復期・慢性期・人工透析・介護医療院
ベッド数	290床
階数・延べ面積	4階RC造&F造：11,730㎡
職員数	418名



● 介護医療院 おはな・JOYメディカルクリニック（始良市）

機能	クリニック・介護医療院
ベッド数	60床
階数・延べ面積	3階F造：7階2,400㎡
職員数	43名



Save the earth

■ 事業の概要・規模・適用範囲

在宅サービス事業

事業範囲 鹿児島市 7事業、始良市 8事業
 総ベッド数 101床
 総延べ面積 3,840㎡ 職員数 鹿児島地区64名 始良地区84名

・鹿児島市地区在宅サービス事業

看護小規模多機能型居宅介護 キラメキ麗・星の街
 居宅介護支援事業所 キラメキ
 ヘルパーステーション 甲東
 訪問看護ステーション まむ鹿児島
 デイサービス 風の街
 住宅型有料老人ホーム ほりえ

キラメキ 麗



ほりえ



・始良地区在宅サービス事業

看護小規模多機能型居宅介護 お福・とまり木
 居宅介護支援事業所 めく杜
 訪問看護ステーション まむ
 デイサービス しあわせ通り らぶ
 住宅型有料老人ホーム おはな別館
 グループホーム 木もれ日・花いちもんめ

お福



とまり木



おはな別館



木もれ日



玉昌会グループ

社会福祉法人 幸友会 かずみ保育園
 株式会社JOY WellBe Club

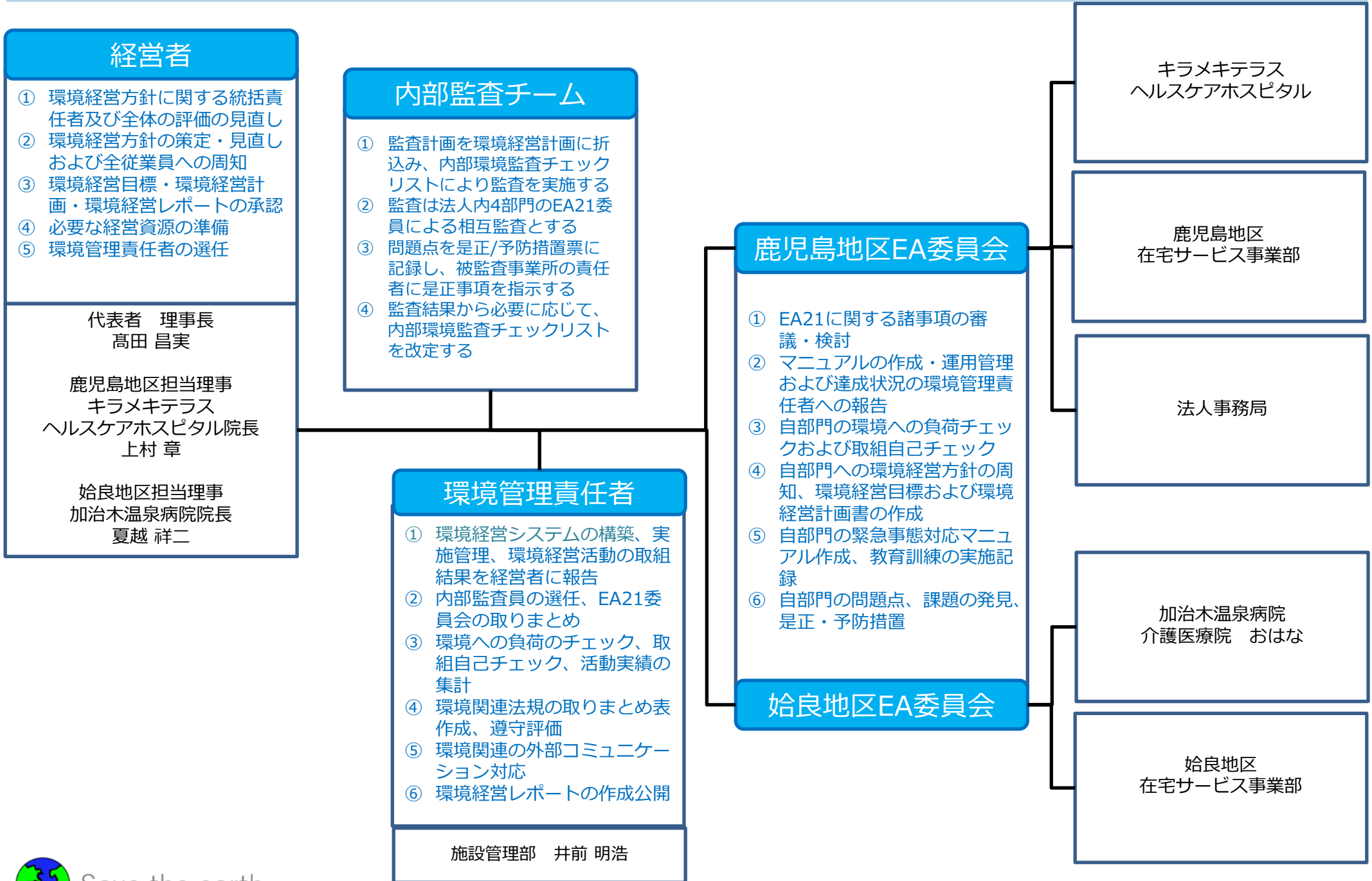
かずみ保育園



WellBe Club



■ 環境経営システム実施体制・役割・権限



■重要課題(マテリアリティ)について

● 経営における重要課題（マテリアリティ）をチャンスに

経営と環境への取組みの方向性を一致させ、環境経営を実現させるためには、経営における重要課題を評価・検討し、チャンスと捉えそれらを環境への取組みに映させることが必要です。「品質マネジメント」および「環境マネジメント」の手法により、法人の内外における重要課題を整理して中長期的「環境経営方針」及び短期的な「環境経営目標」を策定し、情勢に応じて柔軟に対応しながら、進化する環境経営に取り組んでいます。

マテリアリティ（重要課題）をチャンスに

外部の課題				
要 因	温室効果ガスの増加から地球温暖化による気候変動（豪雨熱波、海面上昇等）による社会・経済への影響大	環境全般 脱炭素・水資源・海洋保全・生物多様性 気候変動・循環型経済・廃棄物	GXを意識した環境経営を目指し環境保全活動へ継続的な取組み、GXに協力するためにEJアクション21をツールに目標達成に向けた環境活動を継続	自 己 評 価
	ロシア・ウクライナ戦況による物価高騰	資源	省エネルギーへの取組み削減目標設定、環境経営	
	地域包括ケアシステムの低い認知率 ケアサービスの人材不足	社会基盤・生活向上	心身共に健全でウェルネスな地域共生社会を支える地域包括ケアシステムネットワークの基盤構築を目標	
	30年までにSDGsが達成できるか	社会課題解決	EA21環境基本方針でSDGsへの取組宣言	
	準備に時間がかかり業務負担が増える 産業医契約・ストレスチェックの実施等	健康経営	持続可能な安定的な法人運営上の適切な投資活動と捉えホワイト500認定を更新維持	
	価値観の異なる人材のコミュニケーション不足による生産性の低下懸念	ダイバーシティ&イノベーション	外国人実習生の積極的な受入れ・障害者・高齢者等多種多様な雇用、マイノリティへの理解	
	アフターコロナ景気の停滞 業種によって景気回復に大きな差がある	イノベーション・新商品開発・新規事業開発	新たな市場を開拓し続ける好循環を作り、組織のパフォーマンスを大きくさせる「SmartWork経営」目標	
	建物の老朽化、耐震補強対策不足、防災対策準備不足	インフラ・防災	病院の新築移転継続中2年後を目途に完了予定すべての事業所のBCP策定済	
	人手不足、業務多忙で指導時間が無い、育成能力不足	人材育成	人材開発部による計画的、階層的研修等実施	
	人口減少、大都市一極集中 高齢化、交通・防災能力の低下	地域創生・地域コミュニティ	共生社会連携室設置 地域コミュニティ協議会評議員へ法人参加	
	家庭でのDV、職場でのパワハラ、セクハラ等	人権	法人の就業規則及び懲罰委員会で対応	
	健康寿命を阻害する喫煙、運動不足、高血圧等	ヘルスケア	全世代のヘルスケアに対応した医療・福祉サービスを含めた多様な生活支援サービスの提供	
	IT技術人材不足、基幹システム老朽化、経営層の同意が取れない	生産性向上・DX・情報システム	電子カルテシステム入替済、トップの同意 情報管理室の充実	
	外的要因（災害、世界情勢、パンデミック等）による不安定な供給	サプライチェーン・調達	SCM（サプライチェーンマネジメント）の検討	
内部の課題				



■ 新築病院と既存病院の分野別 原単位比較から見た事

築2年と築45年の病院延べ面積を基にCO₂排出量・廃棄物排出量・水使用量について「原単位」で比較して環境にどれほど影響があるか分析評価いたしました。

新築及び既存病院の原単位 (1㎡当り) 比較 (2022年度)			
病院名		キラメキテラスHCH	加治木温泉病院
延べ面積		9,641㎡	11,730㎡
階数		7階RC造	4階RC造&F造
病床数		198床	290床
築年数		2年	45年
職員数		333名	418名
CO ₂ 排出量 Kg/CO ₂	スコープ1 ※1	41,370	166,933
	スコープ2 ※2	965,077	716,754
	計	1,006,447	883,687
	原単位 (Kg-CO ₂ /㎡)	104.4	75.3
エネルギー 使用量 Gj	ガソリン・重油・ガス	687	3,360
	電気・冷温水	14,176	18,076
	計	14,863	21,436
	原単位 (Gj/㎡)	1.5	1.8
廃棄物 Kg	一般廃棄物	112,300	68,000
	産業廃棄物	16,200	11,410
	特別管理産業廃棄物	96,400	162,810
	計	224,900	242,220
	原単位 (Kg/㎡)	23.3	20.6
水使用量 m ³	使用量	30,237	59,137
	原単位 (m ³ /㎡)	3.1	5.0

※1 スコープ1 (重油・ガス・ガソリン) ※2 スコープ2 (電力・他供給される熱源)

結果として下記の各指標については年代によるアメニティ (快適性・設備の機能) の違いが大きく関わっています。

・CO₂排出量に関して

築2年の病院は、※3全国平均89.7対比大きくなっています。

要因として、築2年病院は全館24時間機械換気設備導入によるものであり感染対策にクリーンな換気システムは必須設備です。今後の病院新築・改修時には、アメニティコスト、環境、ランニングコストを見据えたプランが求められます。

・エネルギー使用量に関して

築2年の病院がエネルギー効率の良い建物です。徹底した省エネ設計及びエネルギーセンターからの熱源供給による結果と思われる。

・廃棄物排出量に関して

築2年病院は、規模が小さいにも関わらず原単位が大きく詳細調査を課題としました。

・水使用量に関して

加治木温泉病院 (築45年) では、患者浴とデイサービス浴どちらにも大きな浸かり浴槽 (大浴槽) が準備されており、また温泉使用のためにお湯を潤沢に使用できた事が要因です。しかし温泉も資源であり環境に多大な負荷を与える要因になることから運用を再検討します。

※3日本医師会、4病協等による「病院における地球温暖化対策推進協議会 (低炭素社会実行計画フォローアップ実態調査)」



■ 病院における低炭素社会実行計画(2030 年度削減目標)に向けて

2病院合算によるCO₂排出量原単位(Kg-CO₂/㎡)は、※①2006年度（基準年度）比（**-30.4%**）また、法人全体では、（**-35.8%**）であり

「病院における低炭素社会実行計画 2030年度目標の（25%削減）」の数値目標は達成されています。

しかし国の地球温暖化対策計画は、2030年度までに2013年度比46%削減が目標です、国の削減目標に向けて更に挑戦を継続いたします。

法人全体の二酸化炭素排出量「原単位 (Kg-CO ₂ /㎡)」 基準年度からの推移								
事業所数		加治木温泉病院 枳野テラスヘルスケアホスピタル	法人全体 病院×2、福祉事業所×7				(参考)	
建物の延べ面積		2病院合算 21,371㎡	建物全体の延べ面積合算 27,611㎡				合算	
築年数		2年～45年	2年～45年				23,931㎡	
		基準年度	2022年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2015年度 全事業所 対象
		2006年度						
二酸化 炭素 排出量 Kg/CO ₂	スコープ1	※① 2006年度を基準 127.1 kg-CO ₂ /㎡を <100.0> として 2030 年度までに 25.0%削減(95.3 kg-CO ₂ /㎡)にする	208,303	414,330	413,877	680,879	676,166	483,440
	スコープ2		1,681,831	1,689,871	1,778,044	1,762,557	1,576,925	1,825,004
	計		1,890,134	2,104,201	2,191,921	2,443,436	2,253,091	2,308,444
	原単位 (Kg-CO ₂ /㎡)		88.4	76.2	79.4	88.5	81.6	96.5
127.1 kg-CO ₂ /㎡を<100.0> として4年間の推移			<69.6>	<60.0>	<62.5>	<69.6>	<64.2>	<75.9>

※①日本医師会・4病協等による2021病院における低炭素社会実行計画 フォローアップ実態調査 報告書から、数値目標指標はCO₂排出原単位（病院延床面積当りのCO₂排出量、単位はkg-CO₂/㎡）とし、基準年度を2006年度127.1 kg-CO₂/㎡<100.0>から2030年度までに25.0%削減(対前年削減率 1.19%)することを目指す。



■ 外部コミュニケーション

外部役員・嘱託・講師

主な外部機関名	役職
日本医療経営実践協会	九州支部理事南九州支局長
NPO法人 災害福祉広域支援ネットワークセンターバード	鹿児島支部長
鹿児島県地域医療対策協議会	委員
始良・伊佐保険医療圏地域医療構想調整会議	委員
鹿児島県透析医会	会長
鹿児島県医療法人協会	理事
鹿児島県地域医師育成	特別顧問
日本性機能学会・思春期学会	理事・評議員
鹿児島県慢性期医療協会	監事
鹿児島県慢性腎臓病対策協議会	委員
鹿児島県薬剤師協会	理事
幼稚園・中学校	学校薬剤師 2件
鹿児島県言語聴覚士会	会長
鹿児島県リハビリテーション看護研究会	役員
小・中・高・専門学校	校医 3件
企業・学校・医療法人	産業医 2件
中・高・専門学校・大学	講師 24件
その他協議会・委員会等	その他 50件

主な外部評価

日本経済新聞 スマートワーク経営
 日本医療機能評価機構 病院機能評価
 日本政策投資銀行 DBJ 健康・環境・BCP格付け
 環境省 エコアクション21
 経済産業省 健康経営優良法人ホワイト500
 EA21 2021九州環境経営レポート大賞受賞

主な協賛等

鹿児島県 みんなの水辺サポート
 鹿児島県 「CO₂」ダイエット作戦宣言事業所
 鹿児島県 PR動画「2050年カーボンニュートラル
 へ向けて」
 かごしま 「SDGs」推進パートナー
 南日本放送 みんなでかごしま SDGs



■地域のボランティア清掃

● 鹿児島地区

キラメキテラスヘルスケアホスピタル近隣の二中通り清掃活動
甲突川ボランティア清掃参加

● 始良地区

加治木温泉病院近隣の春日神社で清掃を行いました。

● 法人全体

錦江湾クリーンアップ作戦、水辺サポート事業参加

錦江湾クリーンアップ作戦
～みんなで守ろう!豊かな自然を～

11/19(土) 午前8時～9時
※雨天中止

会場
臨元海岸
須崎海岸



◎帽子・タオル・手袋 飲み物をご持参ください。
◎新型コロナウイルス感染防止対策のため、検温、消毒をお願いします。
◎駐車場が少ないので、徒歩か自転車、又は乗り合わせの上お越しください。

問合せ：始良市役所 企画政策課 (TEL66-3107)



■ 環境コミュニケーション・教育訓練

年間ボランティア計画及び訓練・研修計画に沿った実績です

環境コミュニケーション		
春	4月	鹿児島地区 EA21委員会
		始良地区 EA22委員会
	5月	始良地区地域 ボランティア清掃
夏	6月	鹿児島地区 EA21委員会
		始良地区 EA22委員会
	8月	鹿児島地区地域 ボランティア清掃
		鹿児島地区 EA21委員会
		始良地区 EA21委員会
秋	10月	鹿児島地区・始良地域 ボランティア清掃
		鹿児島地区 EA21委員会
		始良地区 EA21委員会
	11月	錦江湾クリーンアップ作戦（秋の陣）
水辺サポート推進事業 堤防草刈り		
冬	12月	鹿児島地区地域 ボランティア清掃
		鹿児島地区 EA21委員会
		始良地区 EA21委員会
	1月	環境コミュニケーション大賞受賞
	2月	鹿児島地区 EA21委員会
		始良地区 EA21委員会
3月	始良地区地域 ボランティア清掃	

教育訓練		
春	4月	環境について新入職者研修
		加治木温泉病院 漏油対応訓練
	5月	始良地区 院内研修「SDG s ってなんだろう」
		キラメキTHCH 防災訓練
夏	6月	加治木温泉病院 産業廃棄物緊急事態訓練
		加治木温泉病院・キラメキTHCH 漏油対応訓練
	8月	加治木在宅施設等3施設 防災訓練
秋	9月	鹿児島地区 院内研修「EIAアクションについて」
		始良地区 グループホーム等防災訓練
		加治木温泉病院 漏油対応訓練
	10月	有料老人ホーム ほりえ防災訓練
	11月	キラメキTHCH 防災・漏油訓練
キラメキTHCH 産業廃棄物緊急事態訓練		
加治木在宅施設等2施設 防災訓練		
		加治木温泉病院 防災訓練
冬	3月	有料老人ホーム ほりえ 防災訓練
		鹿児島地区 院内研修「環境について」
		始良地区院内研修 「エコアクションとは」
		加治木在宅施設施設 防災訓練
		加治木温泉病院 防災訓練



■ 環境経営活動計画

● 環境経営活動・行動計画と実施内容

評価の判定基準は環境経営目標&環境経営計画書5-01に基づきます

環境経営方針	取組事項	実施内容	評価
法規等の順守	化学物質管理関連法規の順守	管理表を活用した保管・使用時の適正な管理	◎
	廃棄物関連法規の順守	特定管理廃棄物委託業者のマニフェスト確認	◎
環境負荷の削減と環境改善			
①省エネ、二酸化炭素の削減	電気使用量によるCO ₂ 削減	空調フィルターの計画的清掃	◎
		空調温度管理の徹底	○
		施設担当院内巡回時の確認徹底	○
	燃料使用量によるCO ₂ の削減	段階的なエコカー導入の検討	○
		ワゴン車を代替する軽車両の有効活用	◎
		エコドライブの徹底	○
冷温水供給によるCO ₂ の削減 (キリメテラスヘルスケアホスピタル)	空調温度管理の徹底	◎	
	施設担当院内巡回時の確認徹底	◎	
②資源の有効的活用、3R推進	設備のリユース	旧病院の撤去備品の活用(空調機器、什器備品)	◎
③廃棄物の削減及び適正管理	電カル更新によるペーパーレス化	申込書・同意書等の電子的保管	○
④水使用量の削減	節水、温泉の有効利用	機器の点検、修繕を徹底する	◎
		浴槽水のオーバーフローを減らす	○
⑤化学物質使用量の削減と安全管理	感染症対策と適正管理の徹底	毎月の使用料把握による異常値発生時の対応	○
		保管体制強化・日報管理による管理の徹底	◎
⑥医療・福祉サービスの効率的提供	病院・在宅施設の稼働率の向上	地域連携・病病連携の強化	○
⑦地域ボランティア活動の継続	定期的なボランティア活動の企画	地域に密着したボランティア活動の継続	◎
教育・研修の継続	環境経営の推進と周知	エコアクション委員会活動による取組推進	◎
		新入職研修・役職者フォローアップ研修	◎



■ 環境経営目標・行動計画の実績及び中期目標

● 2022年度環境経営目標の実績及び2023年度以降目標

鹿児島市に新築移転後2年が経過し、実績値が把握できて初めての比較となります。

2023年度以降の目標は、2021年度に対比し▲0.5%で設定しています。

排出係数一覧（2021年度調整後排出係数CO₂/Kwh）

九州電力：0.389 エナジードリーム：0.490

九州エナジー：0.437 他からの供給熱源：0.057kg-CO₂/Mj

環境経営目標と実績値									
目標	年度	2021年度 (基準年)	2022年度 (実績値の現状把握の年とします)			2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	
		実績	実績	目標値	基準年比 %	評価	(2022年度比) ▲0.5%	(2022年度比) ▲1.0%	(2022年度比) ▲1.5%
「全体の二酸化炭素排出量削減」	(単位kg-CO ₂)	2,443,436	2,253,092	2,431,220	▲0.78%	○	2,241,827	2,230,561	2,219,296
・電気使用量による二酸化炭素排出量削減		1,762,557	1,576,925	1,753,745	▲1.1%	○	1,569,040	1,561,156	1,553,271
・燃料及び他からの供給熱源使用量による二酸化炭素排出量削減		680,879	676,167	677,475	▲1.0%	○	672,786	669,405	666,024
「水資源の節水」(水の使用量削減)	(単位m ³)	99,437	101,820	98,991	+2.3%	×	101,311	100,802	100,293
「廃棄物排出量削減」	(単位t)	531.7	551.9	529	+3.7%	×	549	546	544
・産業廃棄物削減		295.4	321.7	294	+8.9%	×	320	318	317
・一般廃棄物削減		236.3	230.2	235	▲3.6%	○	229	228	227
「紙使用量削減」(コピー用紙使用量削減)	(単位Kg)	12682.3	13162.9	12,619	+3.7%	×	13,097	13,031	12,965
「化学物質の適正管理」	(単位Kg)	2778.1	2752.2	使用量は院内消毒が増え約1%減です 保管管理は点検表等適正に管理しています			適正管理	適正管理	適正管理
「地域貢献」(地域清掃ボランティア活動等)	(単位回)	14	14	14		○	14回以上	14回以上	14回以上

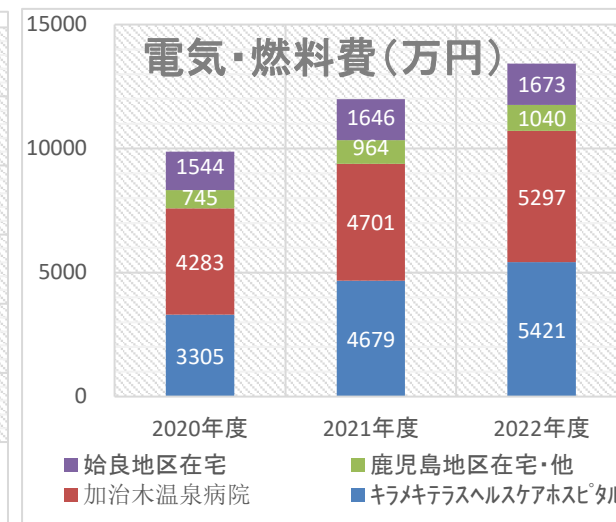
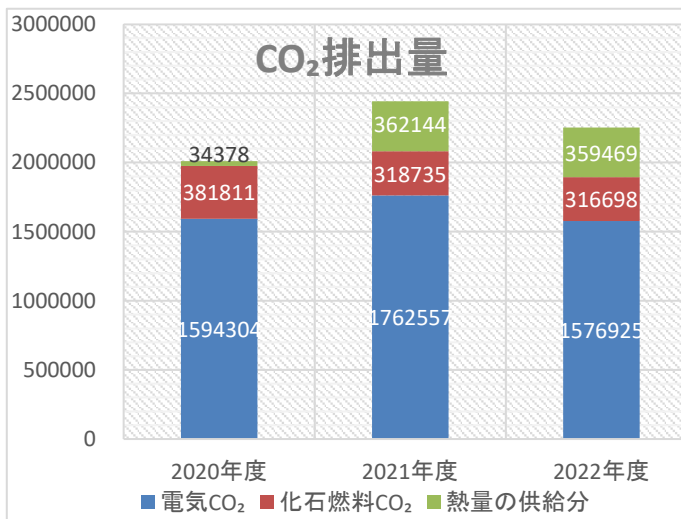


■ 環境経営実績と現状把握

「エネルギー使用によるCO₂排出量削減」

単位：t-CO₂

項目	2021年度		2022年度		増減
	基準年実績	目標値	実績	増減	
CO ₂ 総排出量	2,443.4	-0.5%	2,253	-7.8%	↘
電気使用量によるCO ₂ 排出量	1,762.6	-0.5%	1,576.9	-10.6%	↘
燃料・他熱源によるCO ₂ 排出量	680.9	-0.5%	676.1	-0.7%	↘

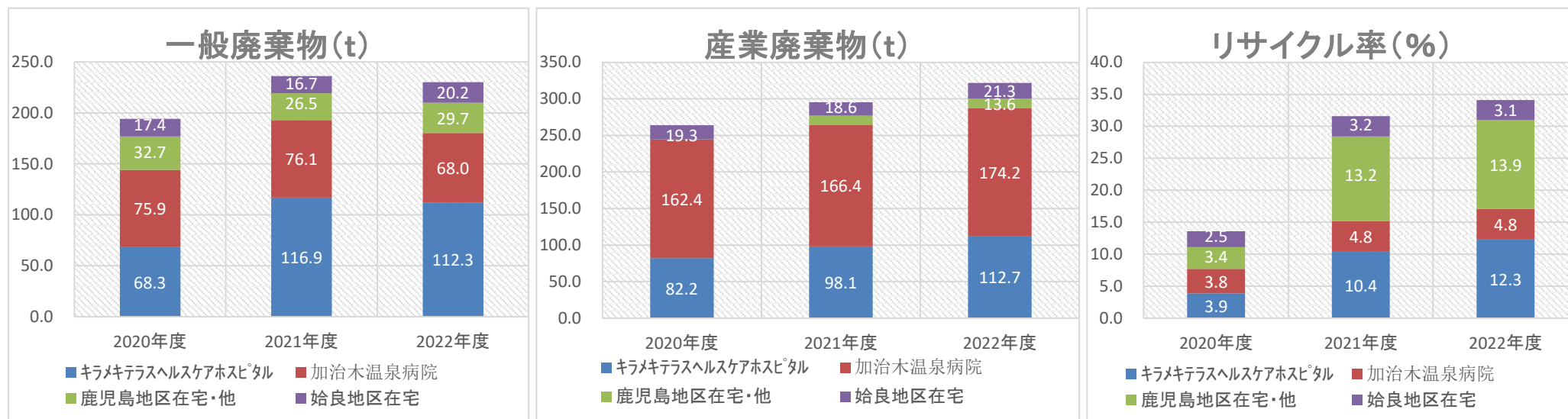


● 取組結果と次年度対策

項目	取組事項	評価	次年度対策
省エネ、二酸化炭素の削減	CO ₂ 総排出量	病院、在宅施設で電気供給元を九電に変更した結果、排出係数が下がり、全体として削減することが出来ました。	通年での運用ノウハウを活用し、電気・燃料・冷温水それぞれに対してきめ細やかな管理を行って参ります。
	電気使用量	すべての病院や施設でコロナ感染症対策のために換気の頻度を上げており、空調関連の使用量が増えています。換気量確保と感染予防対策、適温使用を継続します。	感染症対策を徹底しつつ、空調の適正管理に努めます。
	燃料使用量	車両入替時、エコカー導入を個別に検討しています。またコロナ化での感染対策で在宅訪問関連が減っていましたが、再開次第エコ運転を継続していきます。	車両入れ替えなど計画的に行います。職員のエコ運転の教育・徹底を行います。
	冷温水熱源使用量 (2021年2月の新病院開設から熱源使用を開始)	新病院では移転後の年間使用量を把握し、今年度から目標をたてる事が出来ました。感染対策でのファンコイル運転など患者ファーストで対応しました。	春・秋など中間期の空調運転見直しも含め熱負荷を下げる効率運転を検討します。

■ 環境経営実績と現状把握

「廃棄物の削減」「リサイクルの推進」

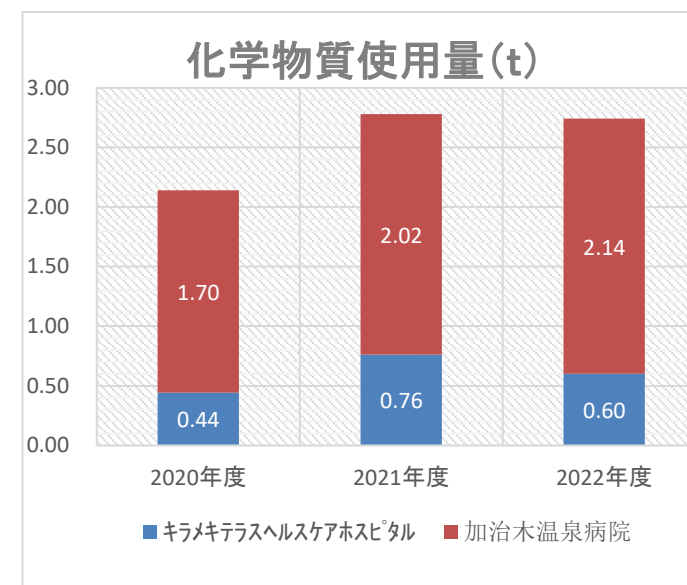
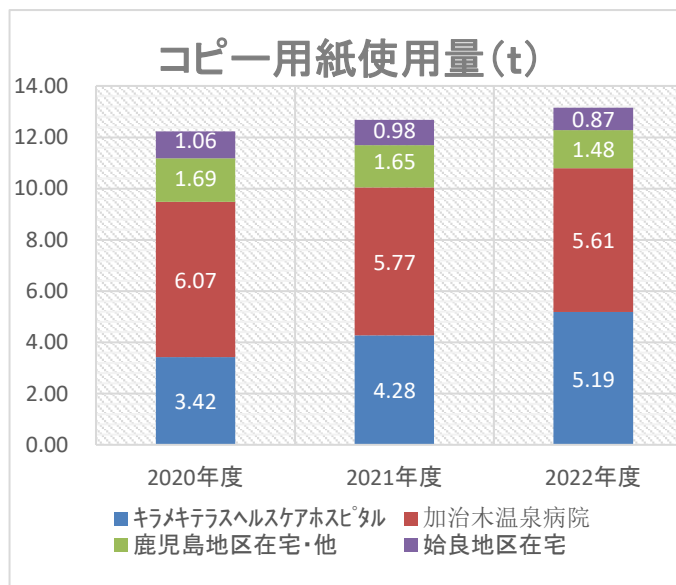
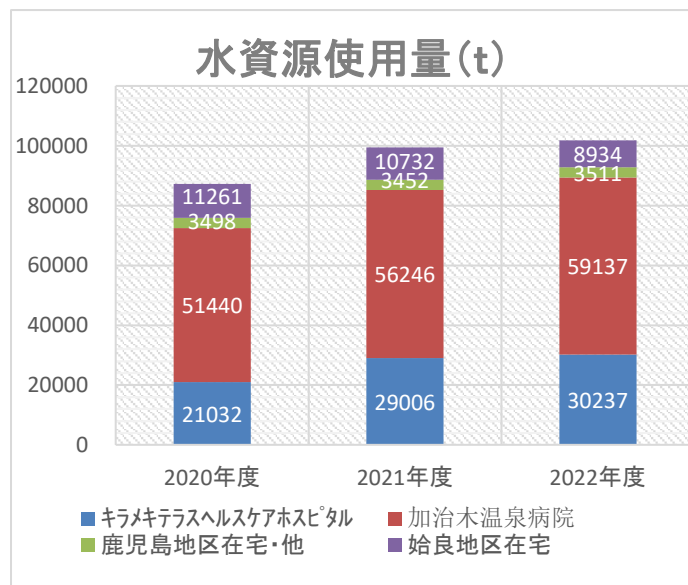


● 取組結果と次年度対策

項目	取組事項	評価	次年度対策
廃棄物削減	一般廃棄物	コロナ感染疑いのあるものも感染性廃棄物で処分した結果、減少しました。	感染症対策とゴミの分別を徹底します。
	産業廃棄物 特管保管管理の徹底	コロナ感染症発生に伴い、対策用品廃棄物が増加しました。 感染性廃棄物など特管廃棄物の保管管理は適正です。	感染症対策に伴う廃棄物などの特管廃棄物の一次保管・移動保管管理・適正処分を徹底します。
	リサイクル率	ごみの分別を徹底しました。	リサイクル率の向上のため、資源ごみの分別を徹底します。

■ 環境経営実績と現状把握

「水使用量の削減」「紙使用削減」「化学物質の適正管理」



● 取組結果と次年度対策

取組事項	評価	次年度対策
水資源使用量削減	新病院で病床数が増加し、1日平均入院患者様が10名程度増加しています。浴室等での節水を心がけていきます。	月々の使用量から漏水などにいち早く対応します。浴槽のオーバーフローなど無駄使いを無くすよう徹底します。
コピー用紙使用量削減	今年度グループ内の電子カルテ更新作業の影響で一時的に増えていますが、今後は更新されたことによる効果が期待されます。	ペーパーレス化で印刷物を減らせば、用紙だけでなくインク代、プリンター故障等も減るので、会議資料などでの無駄を無くすようします。
化学物質使用量削減 保管管理の徹底	感染症対策の増加に伴う消毒用次亜塩素酸使用が主な原因です。次亜塩素酸は10%濃縮を使用しています。	リサイクル率の向上に向け、資源ごみの分別を徹底します。



■ マテリアルバランス（事業活動による環境への影響）

マテリアルインプット（年間投入量）			事業活動		アウトプット（年間発生量）						
材料	お薬	551.9 トン	「医療」 病院 クリニック 健診	薬局 人工透析 リハビリ レントゲン 厨房 手術 売店 消毒・滅菌 医療事務	温室効果ガス	二酸化炭素	スコープ1	316,697 Kg-CO ₂			
	医療材料						スコープ2	1,936,394 Kg-CO ₂			
	食材				エネルギー	「介護・福祉」 子育て 介護医療院 デイサービス 通所リハビリ グループホーム 居宅介護支援事業 住宅型有料老人ホーム ヘルパーステーション 訪問看護ステーション 看護小規模多機能型居宅介護	空調 照明 浴室 トイレ・洗面 車両 ボイラー	水質汚濁	下水道	鹿児島市	33,749 トン
	介護用品								公共用水域	始良市	68,071 トン
	事務用品							電気	3,850,566 Kwh	廃棄物	一般廃棄物
水使用	ガソリン	66,815 ℓ	産業廃棄物	リサイクル	0.6 トン						
	重油	16,850 ℓ				特別管理 産業廃棄物	最終埋立	294.1 トン			
	ガス	51,888 m ³	化学物質	次亜塩素酸Na	2,759 Kg						
冷温水	6,306,480 Mj	酸化エチレン				ホルマリン					
上水	48,897 トン		地下水	15,795 トン							
地下水	37,128 トン										
温泉	15,795 トン										

マテリアルインプットの材料はアウトプットの廃棄物と同一量としている。

■ 環境関連法規の遵守

主な環境関連法規遵守状況 (法人全体)

項目	関連法規等	設備、内容
大気汚染	大気汚染防止法	非常用発電機
水質汚濁	水質汚濁防止法	特定施設
	下水道法、浄化槽法	浄化槽設備、排水処理設備、油・水分離設備
化学物質	化管法	中央材料室・検査室・浴室消毒・透析室
	消防法	危険物（重油・軽油）取扱に係る部分
廃棄物 リサイクル	廃棄物処理法	感染性、産廃、廃プラ、汚泥、一般廃棄物
	家電リサイクル法	家電製品
	自動車リサイクル法	車両
地球環境保全	フロン排出抑制法	冷凍機、第一種特定製品（パッケージエアコン等）
	省エネ法	エネルギー使用の合理化
その他	労働安全衛生法	中材室滅菌装置
	高圧ガス保安法	医療ガス
	水道法、温泉法	水質検査
	グリーン購入法	物品購入時

● 遵守状況の確認と違反・訴訟の有無、評価

当法人に適用される関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、訴訟もありませんでした。

評価年月日：2023年4月1日

評価者 環境管理責任者 井前明浩



■ 代表者による全体の評価と見直し

新型コロナが「2類相当」から「5類」へ移行しましたが、依然としてコロナウィルスの脅威が社会から消えたわけではなく、引き続き適切な感染対策が必要です。いま世界中で地球温暖化を防ぐために様々な取組みが行われています。玉昌会グループでは環境経営の長期ビジョンとして、2050年の達成目標（カーボンニュートラル）に向け、EA21の継続・SDGs・GX（グリーンイノベーション）への取組みを行います。地球温暖化対策は待ったなしの状況ですが、幸いにも私共には省エネ対策のノウハウが10年以上あり、更にブラッシュアップし、実行する事で少しでも地球温暖化対策に協力できると考えています。

● 環境経営目標の評価

・「二酸化炭素排出量削減」について

電力及び燃料使用によるCO₂排出量は、どちらも削減できました。

電力は、2022年度に加治木温泉病院及び在宅施設2か所の電気供給会社変更により、二酸化炭素排出係数が下がったことが、削減の大きな要因です。次年度以降も、削減目標に向け意識した取組みを行います。

・「廃棄物の適正管理及び削減」について

廃棄物の総量は増えています。増加要因としては、コロナ感染の影響がありました。感染性廃棄物の保管管理及び処分は適正でした。

一般廃棄物は減少しています、これはコロナ感染汚染疑いのあるものを感染性廃棄物として処分した結果です。

リサイクル率は年々上がってきています。

次年度以降、分別・保管の徹底を通じて、感染症対策を確実にいきます。

・「紙資源の削減」について

新電子カルテシステム稼働後、仕様変更などによる印刷物増が一部で発生しています。

次年度は、運用の点検を行い改善を進めてます。

・「水資源の削減」について

増加の要因として、新病院の増床による使用量増、在宅施設での水道埋設配管の漏水、温泉源トラブルによる温泉供給停止が考えられます。

次年度は適正な節水及び漏水につながる古い設備に関して改修計画を

たてて順次修繕を行います。

・「化学物質の適正管理及び削減」について

感染対策の消毒用次亜塩素酸を中心に使用量が増えています。

保管管理は適切になされています。

次年度も感染症対策は継続しつつ、削減・管理の徹底を継続致します。

・「医療、福祉サービスの効率化」について

コロナ感染症の影響により厳しい状況でしたが次第に病院・在宅事施設ともに目標に近づいています。

次年度も地域連携強化して、目標以上の通年100%目指します。

・「地域貢献」について

コロナ禍で多くのイベントが中止になりましたが、年間計画に沿って感染対策行いながら、地域のボランティア清掃活動は継続いたしました。

多くの職員が創意工夫し、地域とコミュニケーションをとっています。

● 環境経営システムの見直しについて

環境経営システムは、職員ひとりひとりの日々の地道な活動に加えて、内部監査チームによる相互チェック機能などのPDCAにより有効に働いています。

次年度は、見直しは行わず本システムがGX達成に有効との認識から取組みを継続します。

医療法人玉昌会 理事長 高田 昌実



Save the earth